

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。まだ一度もお目にも掛かりませんが突然、このようなお手紙を差し上げる失礼をお許し下さい。すでに去勢不妊済みの場合、深くお詫び申し上げます。

さて、●●●様が、飼育動物に去勢不妊手術を受けさせていないという疑いがかけられています。すでに、去勢不妊手術済みの場合、動物病院の領収証を当方へお見せくだされば、疑っている方々へ当方から事実無根だと説明できます。これからなる場合、術後に病院の領収証を当方へお見せくだされば、●●●様を疑っている方々は納得するでしょう。宜しく願い申し上げます。

産ませた飼い主は命を持って余し、一日も早く、家から追い出す目的で新しい飼い主を探すので、実質遺棄。産ませた飼い主は命を持って余し、悪い人を無理矢理良い人に見立てて渡すので、実質虐待者。



一方、譲り受けるほうは、誰しもが初めは「一生、大切に大切に飼います」と言いますが、最後まで飼えない人が後を絶ちません。現に、若い女性が「一生、大切に飼います」と嘘をついて、病院と愛護団体から複数回に渡って譲り受け、虐待男へ渡していました。

女性は虐待男とグル。犯人へ猫を渡した病院も愛護団体も理念なき活動。

●去勢不妊の徹底によって絶滅しても動物は不幸にはなりません。無の状態には痛みも苦しみもありません。「絶滅の危惧」という概念は、ペット業界が官僚を抱き込んで作ったもの。

一匹の里親探しよりも、一人の繁殖者の間違いを正すのが当方の活動方針。悪い人へ飼わせないようにする運動です。

ペット店は反社会的な職業かつ違憲

●当方の活動は処分数削減に貢献し公益性があります。この文書をご不快に思う方は、警察署へこのハガキをご持参の上、ご相談を。

●定期的に神奈川から獣医師を招きメス猫5000円オス猫3000円で手術キャンペーン中。当方が極貧生活に耐えながら私財を投じているからこそ、この料金。なのでもっと安くできないかという無茶な要求はしないでください。手術費を出す義務は飼い主にあります。